

# ズバリ町政を問う

※役場内はクールビズです。

- 一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について、町長など執行機関の考えを議員個人として問いただすことです。
- 一般質問は会議録にもとづき議員個々の自由編集で掲載しております。詳細は会議録（HP・図書館・各公民館に置く）をご参照ください。掲載は質問順としています。

## まちづくり人づくり

### 町長の姿勢

答弁：環境整備が特に重要



丸山 真智子 議員

丸山 人を育てること、人々が結び合うために具体的に何をやるのか。

町長 職員の人事評価制度の定着、住民参画条例の本年度制定に取り組む。

丸山 住民が集いやすい拠点整備はどうするのか。

地域交流課長 各課と協議を行っている。

丸山 可燃物処理の委託契約の次の方向性を任期中に決めないといけない。

町長 乗り遅れないように自分の任期に決める。

丸山 津波等、想定外が起こりえる。防災計画は見直すのか。

総務課長 県の方から内容の提示後、見直す。

丸山 災害時の要援護者支援体制を早く同意式で構築していただきたい。

自主防災組織の結成もどうなっているのか。

総務課長 23年度は手上げ方式、24年度に同意式で取り組む。

防災組織も県のモデル町として指定を受けた。



▲防災訓練（女性議員）

## 空家問題

### 危険廃屋対策を急げ

答弁：整備を進める



大西 勇 議員

大西 町内に約90軒の空き家がある。特に東公園台、別府地区に多いが全町の問題だ。国の補助で「危険廃屋解体支援事業」、空き家の「適正管理条例」を創設し早急な対策を。

町長 予算を含め調査している。

大西 長崎市では譲り受けた空家を公費で解体し、ミニ公園や防災用具置場を作る条例もある。

町長 解体して地域に還元する事も進めたい。

に修学旅行費旅費積立4万5千円、さらにバス通学生徒は4万円。子ども2人を持つ家庭では8万円となる。

交通費がこんなにかかるとは？と悔やんでいる方も多いと聞く。遠距離通学助成金を出している町もある。

町独自の負担軽減策はできないか。

町長 将来的な課題として今後も検討を続ける。

## キャラバンメイト養成を

### 地域福祉

答弁：社協と連携協力で



堤 久美子 議員

堤 認知症対象者は何人か。

福祉課長 介護保険利用者で軽度の方を除いて、約670人。

堤 地域で支え合う取り組みとして、キャラバン

メイト登録者は、福祉課長 病院勤務でケアマネージャー1人。

堤 県で年2回養成講座がある。広報等でお知らせしているのか。

福祉課長 やっていない。広報で周知をしたい。

堤 社会福祉協議会との連携で取り組みを。

福祉課長 社協と連携し各町内会の要請に対応。

堤 子ども、ウオーキンググループ、商店等町々るみで対応していけば、

安心して暮らせる。

9月1日の訓練は満足か

答弁：できる範囲内訓練

堤 防災の日の訓練は職員対象の訓練。満足か。

町長 震災を想定し、できる範囲内の訓練。

堤 住民が避難行動をどうとればいいのか、総合訓練が必要である。



▲認知症サポーター（オレンジリストバンド）